

止する(泥障仕舞いを施す)こと。 笠木・天端拵えも特に水勾配に注意。

○ 外壁面に水の滴りによる汚れや、壁面仕上げの換流不良による、流化炭酸カルシウムが流れ出してきたり、白堊現象が起きて、外壁・タイル等の割れや剥げ落ちまた落下事故につながる。 また床面ポーチ等蹴込み等で白堊現象が起り石・タイル等で割れや剥げ落ちることがある。 上記の現象はよく見うける。

◆ 在来軸組工法による真壁(土塗)工法の特徴。 ～ [木舞掻き(壁土づくり)、荒壁塗り裏戻し(おら直し)、中塗り、漆喰上塗り] ～ 気候のよい時季は真壁内は換流がよく外気がより通り、建物内は快適で、また外気の湿度が高くなると真壁の漆喰や土壁の性質(性能)で建物内と外気を遮断し湿度を防止する能力ある。

特記すれば 土蔵造り 土づくりでは 敲土 などがある。

※ 工事の内容によって、「建物本体の工事」建物周りの「外構工事」に属するかに、分別する。 また「特別工作部位」は、「線状部位」の項で計測・計算、拾い出しを基本とするが、施工内容によって、「面状部位」の項とする場合がある。

◎ 線状部位

線状部位の各部の手順として、「開口欠除部材」・「土間・床各部材」・「土間・床～腰見切部材」・「腰各部材」・「腰～壁見切部」・「壁各部材」・「壁～天井(軒裏)見切部材」・「天井(軒裏)部材」・「その他雑材」の手順とすること。

● 拾い出し明細には、必要数値や所要数値を記載すること。ただし設計数値も必ず記載すること。 ⑤ ～ 小物や乱尺が有り、また既製品・色調・役物が多い。組・束・箱・ケースなどになっている為、必ず上記数値を記載する。

※ 現代風の建築物の外壁は大壁仕上げで、塗り壁や化粧板の張り壁材が多く使用される関係上、附属部材・部品(定規としての見切材(捨)・目地材・塗り止め材・コーナ材・シーリング(附属品)等)等は、面状部位の項とする。

1. 開口欠除の部材。 ～ 軸組内(構造体)の化粧材は内部仕上げ材として拾い出し、記載済み。 軸組外(外部)にて取付ける化粧材。

「下長押」・「下框」・「縁框」・「一筋敷居」・「挟み敷居」・「水切板(泥障板)」・「一筋鴨居」・「挟み鴨居」・「見切り縁」・「戸当り縁」・「額縁」・「付け縁」・「みぞ蓋」・「面格子材」---組み格子・縦格子・その他格子-----等。

「出格子窓」---ひじ掛窓(持ち出し手摺)・組み格子付格子窓・出格子窓に戸袋付。-----等。 ◆ 扉(かじ)一体の場合は拾い出しも一体とする。

2. 土間・床各部材。 ～ 各部位の仕上げ段差異種材による見切材。

「土間・床面見切縁・目地部材」・-----「仕上げ違いの見切・目地材」・-----等。

※ 土間床面の各使用部材の仕舞いは特に、換流に注意施工すること。

3. 土間・床～腰(立上り)見切部材。 ～ (コーナー各部位材(平面～縦垂直コーナー))

「地覆」・「見切框」・「亀腹」・「溝拵えや目地」・-----等。